2026 年度環境保全計画

1． 環境保全に関する基本方針

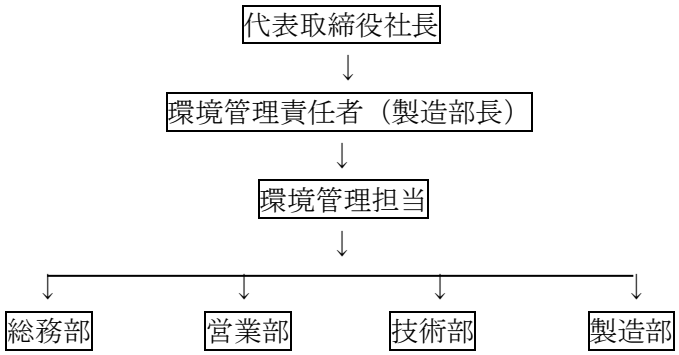
① 環境保全の重要性を認識し環境法令を遵守します。

② 事業活動は省エネルギーに努め環境負荷を最小限にするよう努めます。

③ 地域社会の安全、安心に貢献し清掃活動など積極的に取り組みます。

2． 環境保全に関する組織の状況

環境管理体制は下図のとおりです。



3． 重点目標・計画

① デマンドコントロールによるピーク電力の抑制

② 生産ラインにおけるモーターのインバータ化促進

③ 熱処理設備の断熱性能の維持

④ 熱処理バーナーの空燃比の維持管理

4． 公害防止対策に係る取組と目標値

大気汚染防止対策

①大気汚染防止法、大気汚染防止法第 4 条第 1 項の排出基準に関する条例及び環境の保全と創造に関する条例等の法令を遵守する。

又、設備の維持管理に努め、行った対策や測定した結果等は環境保全報告書に記載する。

②管理基準

施設名	測定頻度	項目	
		ばいじん(㎎/Nm3)	窒素酸化物（ppm）
5 号熱処理炉	2 回/年	200	150

水質汚濁防止対策

①下水道法、下水道条例及び環境の保全と創造に関する条例等の法令を遵守する。

又、排水処理設備の維持管理に努め、行った対策や測定した結果等は環境保全報告書に記載する。

②管理基準

排水系統名		項目			
		水素ｲｵﾝ濃度（ｐH）	鉛及びその化合物（㎎/L）	亜鉛及びその化合物(㎎/L)	鉄及びその化合物（㎎/L）
南側排水口	測定頻度	連続測定	2 回/月	2 回/月	2 回/月
	管理基準	5.0～9.0	0.1	2.0	10

騒音防止対策

騒音規制法及び環境の保全と創造に関する条例等の法令を遵守する。

又､設備の維持管理に努め異常音の発生を防ぐ｡異常音発生時には速やかに必要対策を講じ、行った内容は環境保全報告書に記載する。

振動防止対策

振動規制法及び環境の保全と創造に関する条例等の法令を遵守する。

又、設備の維持管理に努め振動の発生を防ぐ。振動発生時には速やかに必要対策を講じ、行った内容は環境保全報告書に記載する。

土壌汚染対策

土壌汚染対策法及び産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例等の法令を遵守する。

又、薬品等が土壌に染み込まないよう設備の維持管理に努める。

産業廃棄物対策

廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令を遵守する。

又、製造工程の見直しを行い廃棄物発生の抑制に努め減量化を行っていく。

５． 地球温暖化対策に係る計画

① CO2 排出量及び対基準年度 CO2 排出比較

	基 準 年 度（2009 年）	2024 年度結果	2025 年度結果	2026 年度目標
CO2 排出量（ｔ）	3480.8	3077	3148	3116
対基準年度比較	100%	88.4%	90.4%	89.5%

② 目標達成のために講ずる措置

・LED 照明の逐次切替

・生産設備のインバータ化、旧式設備のリプレイス

６． 地球温暖化対策以外の環境保全活動

① 事業所での廃棄物の適正処置

・ミスコピー用紙の裏面再利用

・会議資料等の両面コピーの徹底

② 事業所周辺の清掃活動

③ 児童通学時の見守り活動

以上